

<お知らせ情報（C情報）に至らないごく軽度な機器故障>（月報）

（機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））

平成 18 年 8 月分

No.	発生日	設 備	概 要	処置状況 (2月28日現在)	発生場所
1	H18.8.3	放水路サンプリング設備 (発電所で使用した海水を採取する設備)	海水を採取するポンプ2台中1台が停止したため確認したところ、取水ホース内面に海生生物が付着し十分な流量が確保できず、ポンプにて汲み上げた海水の行先の槽の水位が低下し、ポンプが自動停止したことが判明した。当該ホースの海生生物を除去し、ポンプを復旧させた。なお、もう1系統は健全であるため、海水の採取に支障はない。	処置済み	屋 外
2	H18.8.5	ボール捕集器ピット排水設備 (復水器細管内の洗浄用ボールを回収するエリアの排水設備)	排水に使用するポンプが起動停止を繰り返す状態であったため確認したところ、レベルスイッチの摺動部に異物が詰まり正常動作していないことが判明した。当該スイッチを清掃し、復旧させた。	処置済み	屋 外
3	H18.8.5	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器 (使用済み燃料等を保管するプールの水を浄化する設備)	ろ過脱塩器を流れる水の流量を調節するための弁が全閉状態となったため確認したところ、弁の開き具合を制御するための空気（非放射性）を供給する配管が外れていたため、当該配管を接続し、復旧させた。	処置済み	原 子 炉 建 屋

4	H18.8.9	フラットディスプレイコントローラデジタル出力部 (プラント運転状態を表示する画面の制御装置)	プラント運転状態を表示する画面の制御装置出力部の補助リレーに、リレー動作時に回路を保護するための部品が取り付けられていないことが判明したため、第1回定期検査時に部品を取り付けを実施した。なお、当該リレーは、通常運転中にリレー動作を繰り返すものではないため、現状のまま使用しても回路に影響を与えることはない。	処置済み	中央 制御室
5	H18.8.9	補助ボイラー建屋プロパンガスボンベ (補助ボイラーの着火用ガスボンベ)	ガスボンベ8本中1本のガス管より漏えいが確認されたため、当該ガスボンベの元弁を完全に閉め、ガス管を交換し、復旧させた。	処置済み	補助 ボイラー 建屋
6	H18.8.13	プロセス計算機プラント表示装置 (プラント運転状態を表示する装置)	プラント運転状態を表示する装置15台中1台において、装置内のCD-ROM読み取り機との通信異常が確認されたため、当該読み取り機の交換を実施し、復旧させた。なお、他の14台は健全であるため、プラント運転状態の監視に支障はない。	処置済み	中央 制御室

7	H18.8.18	放水路サンプリング設備 (発電所で使用した海水を採取する設備)	海水を採取する設備2系統中1系統の流量が減少したため、当該系統のポンプを停止し点検した結果、ポンプ内部に海生生物が付着し流量が低下したことが判明したため、当該ポンプの海生生物を除去し、復旧させた。	処置済み	屋 外
8	H18.8.28	タービン補機冷却海水系ポンプ (タービン補助設備用冷却水を冷却するための海水を供給するポンプ)	ポンプ出口側に設置している圧力計に海水のにじみが確認されたため、当該圧力計を交換した。なお、圧力計交換までの間は当該部に仮設の圧力計を設置しているため、圧力の監視に支障はない。	処置済み	海 水 熱交換器 建 屋
9	H18.8.30	補助ボイラー溶存酸素計 (補助ボイラーで使用する水に溶存する酸素を測定する設備)	酸素計の指示値が正常な値を示していなかったため、測定面の研磨を実施し、正常状態に復旧させた。なお、当該箇所の水質分析は、別途、試料を採取して測定しているため、水質管理に支障はない。	処置済み	補 助 ボイラー 建 屋